

つながる かざぐるま

今年、光村図書は創立六十六周年を迎えます。
創立以来、小学校・中学校・高等学校の教科書ならびに
一般書籍の編集・発行を行ってまいりました。
近年では、デジタル教科書・教材の開発に取り組み、
教育の可能性を広げるべく、挑戦を続けております。

多岐にわたる発行物を携え、これからも、
子どもたちの未来のために真つすぐ歩んでいけるよう、
会社のシンボルマークを制定いたしました。
マークのモチーフは、会社の原点ともいえる「かざぐるま」の羽。
かざぐるまを並べたときの、
つながりの部分をシンボライズしています。

これからの原点を忘れずに、子どもたちへ、先生方へ、
私たちができることを考えてまいります。



光村図書



かざぐるまとかざぐるまの
つながりの部分をシンボライズ。

めくるたびに、未来がひらいていく。

光村図書の教科書づくり

2015（平成 27）年 3 月 18 日発行

発行人 ● 常田 寛

発行所 ● 光村図書出版株式会社

〒141-8675 東京都品川区上大崎 2-19-9

電話：03-3493-2111

www.mitsumura-tosho.co.jp

制作 ● 株式会社パラドックス

印刷所 ● 協和オフセット印刷株式会社

めくるたびに、
未来が
ひらいていく。

光村図書の教科書づくり

光村図書

まだ見ぬ、
素晴らしい教材はないか。
もっと、学びやすい
構成にできないか。
光村図書の教科書づくり。
それは、昭和二十五年から、
ずっと改良がつづく、
ものづくり。

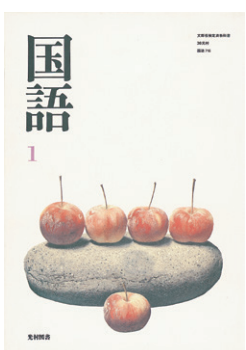
〈国語〉

光村図書の原点。世代を超えて、言語の文化を創造。



○昭和27年度版

光村図書が、初めて世に問うた中学校の国語教科書です。各学年は文学編（上・下）・言語編に分かれ、全九冊で構成されています。国語教育学者の垣内松三が中心となり、当時すでに、「言語活動の究極の理想」を目ざすことが編集の趣旨として掲げられていました。



○昭和62年度版

これまでの教科書から、内容やデザインを一新し、大きな変容を遂げました。この版から、明朝体の読みやすさと、書き文字の特徴を意識したオリジナルの光村明朝体を採用しました。「大人になれなかつた弟たちに……」「ちよつと立ち止まつて」など、現在でも読み継がれている教材が掲載されたのもこの教科書からです。

○平成18年度版

A5判からB5判へ判型が変わり、フルカラーの教科書になりました。大判化の特徴を生かし、学習の流れや資料ページなどわかりやすく構成し、確かな学力の定着を図っています。また、生徒の興味関心を引く豊富な図版もダイナミックに掲載しました。



〈書写〉

一生ものの書く力を。



国語教科書の
歴史のはじまり

風車の歌

まわせ、まわせ。
風車をまわせ。
風車の四つのはね、
それは、「話す・聞く・読む・書く」だ。
国語のすがたであり、言語の活動である。
さあ、しっかり持て、人間力のしんぼうを。
それ、いけ、文化の風を受けて。
まわる、まわる。
進歩のら旋をえがきながら、
まわる、まわる。



昭和二十五年。日本で初めての
小学校国語検定教科書に
掲げられた「風車の歌」。
四つの力を確かに身につけながら、
人間力を育む教科書へ。
この思いは、今までも、
これからも、変わりません。

○平成24年度版

一年から三年を合本にし、学年を超えた見通しと振り返りができる教科書に大変革。「原理原則を学び、毛筆で確認」という学習構造を、美しい文字を教材に、書く力が確実に身につく教科書を実現しました。

○昭和31年度版

光村図書の最初の中学校書写教科書。昭和の三筆ともいわれ、「文字自体が人智の結晶である。」という言葉を残した、手島右卿が監修者でした。

〈美術〉

生徒の感性を揺さぶり、描きたい、つくりたい気持ちを刺激する。

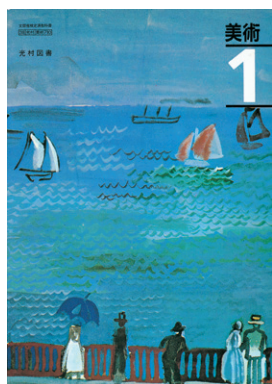


○昭和27年度版

光村図書的美術の原点は、中学校図画工作科用の教科書「造形」。戦後間もなく発行、木工の図面など、生活を豊かにするための実用的な内容も多く、当時の日本人の暮らしがしのばれる教科書です。日本洋画界の巨匠、梅原龍三郎が監修者でした。

○昭和62年度版

ゴッホの「ひまわり」と速水御舟の「向日葵」を比較鑑賞する題材や、ラウル・デュフィの作品の表紙が斬新と話題に。三学年で同じ作家の違う絵を使うという発想が、それまでの教科書にはありませんでした。



○平成24年度版

両観音四ページにわたる大きな紙面と構造を活用した鑑賞題材の「特別展示室」が話題に。ピカソの「ゲルニカ」は、描き直した痕跡まで見える印刷です。

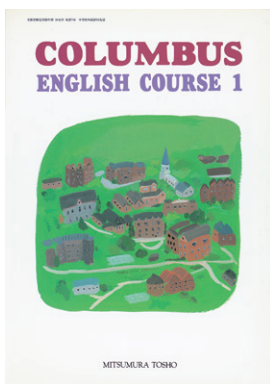


〈英語〉

これからの世代に必要な、生きた英語の学びを目指して。

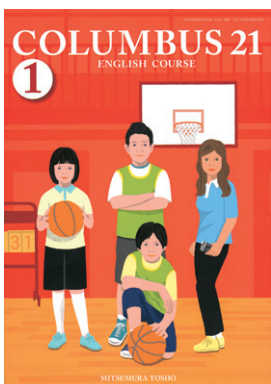
○平成5年度版

本当に使える英語が学べる教科書を目指してデビュー。コミュニケーション・アプローチによる教科書として、これまでの英語教科書のイメージを一新。英語教育界の話題となりました。



○平成24年度版

光村が大切にしてきた「自然な英語」を生かしつつ、環境問題や異文化理解などのトピックをさらに充実。小学校で始まった外国語活動にも対応し、音声効果を効果的に使った言語活動を増やしています。



教科書の紙面（右）と、拡大教科書の紙面（左）。単純に文字を拡大するだけでなく、読みやすいレイアウトの工夫もなされている。



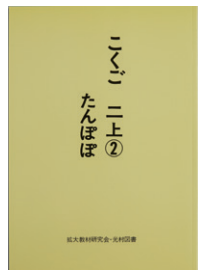
○拡大教科書の紙面



○原本教科書の紙面



○平成 24年度版
中学校用拡大教科書



○平成 4年度版
最初に発行された小学校用
拡大教科書。平成5年には、
中学校用拡大教科書も発行
された。

教科書会社として初めての、
拡大教科書への取り組み。

弱視の生徒たちの負担を軽減するため、文字や図版を大きくして学びやすくした「拡大教科書」。光村図書は、平成5年、教科書会社として初めて中学校国語の拡大教科書を編集・発行しました。平成二十年に教科書バリアフリー法が成立する十五年も前のこと。使用者の声を受けて研究・改善を進め、現在も継続して発行。文字サイズも三種類作成し、生徒の見え方の特性により適した教科書を選んでいただけます。また、特別支援を要する生徒に配慮した検証も行っています。（関連記事 P 19）